

スハフ43 生誕50年記念運転

スハフ43は製造50年を迎えた。これを記念して、運転前にシャンパンでの乾杯、記念ヘッドマーク、「かもめ」「はつかり」のテールマークを取りつけての運転、更に、財団から「スハフ43とその時代」という絵葉書を新発売した。今回の記念運転と併せて保護管理委員を千頭で開催した。当日は千頭へ向かうオハニの車内は35℃を示すほどの猛暑であった。



(スハフ43 製造50周年記念ヘッドマーク 新金谷にて)

<7月14日運転状況>

ボランティア参加者	24名 (初参加4名)
乗客	下り 92名 上り 66名
売上	16000円
募金	11300円

運転前作業

1) ヘッドマーク

発砲スチロールで型取った部品(渡辺氏作製)を貼り合わせる作業を当日9:00から行なった。オハニの中の暑さと運転までの時間にせかさながらの作業、しかも、細かい作業もあり作製には苦労した。



(暑さで汗が滴り落ちる)



(出来上がったヘッドマークを取り付ける)

2) テールマーク

ドラム缶のフタを利用して「かもめ」(渡辺兄弟作製)「はつかり」(倉繁氏親子作製)のテールマークを再現した。ちなみに、「かもめ」のロゴとイラスト部分は発砲スチロール製、一方「はつかり」はロゴ、イラストともに木製。
*ヘッドマークは、ロゴ財団のシンボルマークとも発砲スチロール製。



(下り オハニ36に「かもめ」のテールマーク 新金谷駅構内)



(上り スハフ43に「はつかり」のテールマーク 千頭駅にて)

3) 座席の補修

オハニ36のモケット貼り替えを2ヶ所実施した。

モケットに関しては、床とともに次回の募金による補修事項として計画されている。今回はそれまでの応急処置。



(傷んだモケットは剥がす)



(接着剤を塗り、新しいモケットを貼る)



(モケットの端は埋め込んで出来あがり)
5月の運転日にスハフ43の座席がグラックということで荒縄で応急処置をしていたが、今回、針金で座席の固定を行なった。



(針金で固定したが、応急処置?)
4) 通常運転前作業
10:30からは通常のC12のプレート磨き、客車の清掃を行なった。



(C12のプレート磨き)



(写真J) 客車の清掃
スハフ43 生誕50周年記念式典
11:30からいつもより少し早めに運転前作業を終わらせ、記念ヘッドマークを取りつけたC12の前でシャンパンで乾杯し、お祝いを行なった。

